

令和7年度 第1回上溝高等学校運営協議会 議事録

令和7年6月23日(月) 15:00~16:30

場所: 上溝高等学校 会議室

学校運営協議会委員 8名(敬称略)

会長	小泉 力也	上溝高等学校第29代校長
副会長	林田 裕之	上溝高等学校 校長
委員	横山 恵史	相模市立上溝中学校校長
委員	関島 茜	本校PTA会長
委員	小山 美代恵	同窓会(鳩友会)会長
委員	鈴木 崇之	上溝商店街振興組合理事長
委員	永野 堅次	上溝地区社会福祉協議会会長
委員	倉橋 強治	自治会法人本町自治会長
委員	山口 信郎	神奈川県更生保護協会理事長

学校職員

林田 裕之	学校長	森 仁	副校長
前田 崇暢	教頭(欠席)	齋藤 学	事務長
秋庭 真季	学務グループ	橋口 圭一郎	地域連携グループ
森下 和彦	生徒活動グループ	池田 岳史	支援相談グループ
丸茂 千秋	キャリアグループ	木村 信彦	学校管理グループ
日高 佳枝	業務アシスタント(記録)		

○(副校長)開会の言葉 資料確認 (15:00)

- ・令和7年度第1回学校運営協議会資料
- ・令和6年度第3回学校運営協議会議事概要
- ・令和7年度年間行事予定
- ・神奈川県立学校のコミュニティ・スクール

1 校長挨拶

- ・令和7年度の教育計画の説明を行う。ご意見いただきたい。

2 令和7年度学校運営協議会委員の委嘱

3 会長、副会長の選任

- ・会長は小泉様、副会長は林田校長とする。
- ・令和7年度有識者:小泉委員、山口委員にお願いした。

4 委員および関係職員の自己紹介

- ・各委員様より挨拶
- ・職員委員の挨拶

5 学校評価部会〈学校運営に係る報告と計画〉資料3、資料4、資料5、資料6、

(1) スクール・ミッション及びスクール・ポリシー、学校教育計画、グランドデザインについて

○校長

- ・資料3～6の説明
- ・生徒にとって上溝高校が真の居場所になってほしい。→自己肯定感の向上→自己実現に繋がっていく。
- ・上溝高校の印象としては、ゆったりとした時間の流れる安心感を感じられる学校。その中で、やる時はやるという活力のある学校を目指していきたい。
- ・全公立展では立ち止まってもらう為の分かりやすい魅力として、駅から近い・校舎が綺麗・学食がある等の発信をした。これから行う個別の学校説明会では、創立110年を超える伝統のある学校として、地域と密着した学校運営を行っている等深い内容で学校の魅力を発信していきたい。

(2) 県立高校指定校事業「教育課程研究開発校 学習評価」について

○秋庭（学務グループ）資料9、資料10

- ・令和7年度からの3年間も教育課程研究開発校（学習評価）として研究を行っていく。令和7年度からは、生徒の自己評価能力に着目、生徒の自己肯定感の実現に向けて研究計画を立てている。
- ・福井大学の遠藤先生にアドバイザーとしてお願いする予定

(3) 令和6年度学校評価報告書〔実施結果〕および令和7年度校評価報告書〔目標設定〕について

6 地域連携部会〈今年度の活動計画〉

7 キャリア部会〈卒業生の進路状況と今年度の取組計画〉

上記3点について各グループリーダーより

○秋庭（学務グループ）資料7、資料8、資料11-1、資料11-2、資料11-3

- ・R8年度から教育課程編成に変更がある。学校説明会でも案内しているところ。
- ・R8年度生(81期)は7時間目→6時間目まで（課外活動の時間を確保する）
- ・化学3単位→4単位（標準4単位のを3単位で行っていた為）
- ・生徒の状況を見ながら教育課程を変更している。
- ・令和6年度生は新カリキュラムになってからの初めての卒業生なので、どのような進路に進んだのかを検証していく必要がある。

○森下（生徒活動グループ）資料7、資料8、資料14、資料15

- ・昨年度の校外・校内に向けての発信を活発に行っていた結果、部活動の加入率の増加がみられた。（全体で75%の加入）（ボランティア同好会の設立により、大幅に増えた）
加入率の増減だけでなく、部活動・同好会からどのような事が身についたのかを見ていき、中身が充実していけるようにしたい。
- ・新たにボランティア同好会が設立され、今後、人数的にも部として活動していく事になると思う。外部のボランティアへの参加だけでなく、独自に活動内容を創造し、行動していきたい。
- ・昨年12月から生徒会本部役員が増加し、新入生5名を加え、現在18名が本部役員として活動している。
- ・昨年度立ち上げた上高ルールメイキングプロジェクトでの取り組みの結果として、今年度より夏服期間中の登下校の服装として、ポロシャツを認める事となった。

○池田（支援相談グループ）[資料 7](#)、[資料 8](#)、[資料 12](#)、[資料 13](#)、[資料 17-1](#)、[資料 17-2](#)

- ・生徒に規範意識、風紀の乱れ等に関して周知をしていく。適切な声かけをしていく。
- ・SSW、SCの来校日は面談でびっしり埋まっている状況。情報の取りこぼしがないように、グループとして行っていく
- ・4/25に第1回いじめ対策会議を実施した
- ・かながわ子どもサポートドック
生徒のアンケート、教員の気づき・生徒との面談を併せて、SSW・SCとスクリーニング会議を行った。これから、プッシュ型面談を実施していく。
- ・酷暑が続くので夏服について、ポロシャツの着用を認めた。
- ・交通安全教育について
現在77%の生徒が自転車通学。最近も通用門の前で大きな事故が起こってしまった。自転車の乗り方についても指導していく。今年度もスケアードストレイトを行う予定。

○木村（学校管理グループ）[資料 7](#)、[資料 8](#)、[資料 16](#)、[資料 17](#)、[資料 18](#)

- ・今年度もテスト後に全校生徒対象の地震避難訓練（5/23第1回実施済み）、1年生対象のDIG研修（11月）を行う。
- ・生徒対象の緊急災害時についてのアンケートをおこなった結果、ほとんどの生徒は徒歩または自転車で帰宅するとの答えがあったが、実際の災害時の道路状況の想定がされていないのではと感じた。（道路が陥没や瓦礫で塞がれている、物が落ちてくる等の想定がされていない）
「家族での集合場所等決めているか」→決めていない、決めているが覚えていないで43%。
- ・今年度は「地域の一員として」地域の防災を含めて取り組んでいく。
- ・10月以降、電子黒板の導入予定。スムーズに使用できるよう準備していく。

○橋口（地域連携グループ）[資料 7](#)、[資料 8](#)、[資料 19](#)

- ・学校広報活動の一環として、市民会館での学校説明会やオープンスクールでの発信。
- ・ボランティア活動に積極的に取り組んでいるので、力を入れていきたい。地域等と共同して活動していく。
- ・外部への発信方法として、現在のホームページに加え、SNSの活用を考えていきたい。
- ・今年度も定期的になここ食堂、駄菓子屋さんのお手伝いをさせていただく。

○丸茂（キャリアグループ）[資料 7](#)、[資料 8](#)、[資料 20](#)、[資料 21](#)、[資料 22](#)

- ・大学進学が増えている。
- ・令和7年度の外部教材としてスタディサプリ（学習動画）の導入。主に学力の向上を図る。
- ・令和7年度の外部テストとして到達度テスト（リクルート）、実力診断テスト（ベネッセ）を利用する。データの利用、振り返り等行い、目標を定めていく。三者面談でも活用予定。

意見交換（●：学校運営協議会委員 ○：学校職員）

●小泉委員

- ・英検 2 級ほどの程度合格者がいるのか

○丸茂

- ・校内での 2 級合格者はいないが、10 人程度はいる。今年度から英検準 2 級プラスという新しい級ができた。合格者が多く出るよう取り組んでいきたい。

●小泉委員

- ・資料 8(10 ページ)の「ウェルビーイング」とは？
- ・「時間外在校時間が削減され、教員のウェルビーイングが高まったか」とあるが、生徒との関わりが増える事が教員にとっての幸福感となるはずだが、時間が減る、というのは、逆行していないか。

○副校長

- ・「ウェルビーイング」とは、身体的、精神的に社会的に良好な状態のとこをさす。
- ・教員本来の仕事である生徒と関わる時間を増やすために、働き方改革を行い、効率的に業務に取り組み、時間外労働時間の削減を行う事を目標とする。

○校長

- ・時間外労働の縮減、やりがい、働き甲斐の向上を目指していく。
- ・働き方改革の一環として、留守番電話対応を実施し、時間外での電話対応をできるだけ減らしていく。朝の出欠連絡も電話からフォームでの連絡とし、電話対応に時間を割かれぬよう対応している。
- ・教員の本来の業務を充実させて、生徒との向き合う時間を増やしつつ、それ以外の業務は効率的に行っていく。

●永野委員

- ・自転車通学が多いという事だが、電車、バス、徒歩での登校はどれくらいか。
- ・東日本大震災の際電車もバスもとまって、ケータイも使えない、といった事があった。この場合はどう対応する事になっているのか。

○池田

- ・前任校では学校に泊まって、遠い子と一緒に 2 日くらい過ごした。(保護者と連絡の取れない生徒)ブランケットも備蓄倉庫にあるので、遠い生徒は学校に留まるという事もある。どちらにせよ、保護者と連絡がとれるまではむやみやたらに下校させる事はない。(安全確保)

○校長

- ・家庭と連絡がとれて、安全の確認がとれないと帰宅させられないので、留め置く、ということになると思う。備蓄食材もある。また台風や大雪の対応については生徒手帳等でも示している。

●小山委員

- ・進路状況にのっていない人はどういった人？

○丸茂

- ・大学・短期大学で卒業生の75%・就職1名（自営業）その他、専門学校や浪人して翌年大学を目指す生徒もいる。

意見<総評>

●小泉

- ・「出来た事」を元に評価していく仕組みが大切。
- ・カリキュラムについては、今の生徒の力に合わせて作るより、高めの所を目指した所で作成して、学力向上に努めるのがよいのでは。
- ・頑張れば一般入試で受かる子、まじめに頑張っている子は総合型選抜等、生徒に合わせた進学方法、進学先を案内していくと良いと思う。
- ・自転車事故について、通用門の所は事故が本当に多いので、注意。
- ・生徒が良くなっていく事でも先生方のウェルビーイングが高まると思うので、先生方も頑張ってもらいたい。
- ・現在上り調子なので、このまま上を目指してほしい。

●横山委員

- ・意図的に、計画的に行っていく事が子供たちの能力向上につながっていくと思う。
- ・日頃の積み重ねが入試の倍率に繋がっていると思う。

●関島委員

- ・交通事故について、上溝駅からの高校までの自転車の交通ルール、運転の仕方について危ないと思う事がある。
- ・ポロシャツは好評。涼しい。ユニクロ（勤務先）にもポロシャツを探しに来る上高生が増えた。2色買いしていく子が多い。

●鈴木委員

- ・交通安全について、商店街では、車からの視点が見られるVRを使って交通安全イベントを行っているので、スクアードストリートと合わせて行うとより効率的かなと思う。
- ・職業講話はとても良い。ボランティアも絡めて話ができると良い。
- ・例えば上溝祭りではゴミ問題がある。各団体の持っている問題をテーマにボランティア同好会で取り組んでいくと良いのかなと思う

●永野委員

- ・上溝公民館に華道部の作品を出してもらった。地域の方に高校を知ってもらえるし、高校も地域と関わる非常に良い機会だった。
- ・駄菓子屋ボランティアもたくさん参加していただいていたありがたい。
- ・昨年度授業を見学させてもらったが、学校生活を楽しみながら、地域の活動にも積極的に取り組んでいて、とても良いと思う
- ・自転車事故→上溝駅の所は駐輪場もあるし、下、上、横から自転車が出てきて危ない。自転車でも一時停止必ずする、身をもって恐ろしさを体験しないと身を守れない。

●倉橋委員

- ・道路交通法改正の内容に合わせて高校の安全教育として行うとよい。
- ・上溝夏祭りのお手伝いをお願いすることもあるかもしれない

●山口委員

- ・授業アンケート結果、かなり当てはまる、ほぼ当てはまるで、90%以上。すばらしいとおもう。先生方の努力が見られる。ほとんど当てはまらないが1%を下回っているのが本当に素晴らしい。

○校長

- ・自転車の事故が起こりそうな場所として、28 ページ④の場所がある。
- ・余裕をもった生活をする事。一時停止、一方通行等標識の指導も必要かと思う。警察と連携して、登下校の指導を行っていきたい。
学校のある場所が地元であるという意識も必要。地域が持っている問題はどこの地域でももっている問題ではある。
- ・学習活動について、満足度9割以上を目指しているところ。
質の向上を追求していきたい。今年度末に生徒の学びの質がこのように変化したと報告できればと思う。

次回 第2回学校運営協議会 11/19 (水)